

2015年2月23日

日清製粉創業者生誕145周年特別企画展 「正田貞一郎展」開催

日清製粉グループ（日清製粉グループ本社 社長：大枝 宏之）は、本年が日清製粉創業者 正田貞一郎の生誕145周年に当たることから、発祥の地・群馬県館林市の企業文化施設“製粉ミュージアム”において、2015年2月28日（土）～5月6日（水）の期間、特別企画展「正田貞一郎展」を開催します。

■ 創業者 正田貞一郎と企画展テーマについて

正田貞一郎は1870年（明治3年）横浜に生まれ、大学卒業後は実家館林の醤油醸造業に携わる傍ら実業界へ雄飛するチャンスを狙い、1900年（明治33年）館林製粉を起業し、欧米式の近代式機械製粉業へ本格参入します。その後、旧日清製粉の吸収合併を機に社名を日清製粉に改め、一層の事業拡大を図り日本一の製粉会社へ育て上げ、今日の日清製粉グループの礎を築きました。

企画展においては、「事業と公益」をメインテーマとして、明治、大正、昭和という激動の時代を駆け抜けた正田貞一郎の創業者精神、事業の発展に懸けるひたむきな想いや先見性、困難に遭遇した際の経営者としての決断力と実行力、公益性（企業の社会的責任）、人間力などをテーマとし、それぞれ多面的に創業者の実像を紹介します。

■ 特別企画展「正田貞一郎展」開催概要

- ・企画展名称：日清製粉創業者生誕145周年特別企画展
「正田貞一郎展」
- ・開催期間：2015年2月28日（土）～2015年5月6日（水）
- ・開催場所：製粉ミュージアム（群馬県館林市栄町6-1）

■ “製粉ミュージアム”施設概要

“製粉ミュージアム”は、小麦・小麦粉をテーマとして2012年11月にオープンした、世界的にも貴重な企業文化施設です。日清製粉グループの歴史を語る“本館”、先端技術を駆使した小麦粉づくりの今を伝える“新館”、寛ぎの“日本庭園”という3つの要素で成り立っています。

- ・名称：製粉ミュージアム（Nisshin Milling Museum）
- ・所在地：群馬県館林市栄町6-1
（東武伊勢崎線「館林駅」西口下車すぐ）
- ・電話：0276-71-2000
- ・開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）



▲製粉ミュージアム外観

- 休 館 日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日が休館日）、年末年始等
- 入 館 料：大人200円、小人（小・中学生）100円
- 備 考：専用駐車場施設はございません。東武伊勢崎線館林駅東口の指定駐車場をご利用の方には駐車券サービスをご提供しています。詳しくは WEB サイト（ <http://www.nisshin.com/museum/> ）をご確認ください。

この件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部広報部 担当：堀野・寺岡
東京都千代田区神田錦町1-25 電話：03-5282-6650